



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月28日

上場会社名 エスリード株式会社
 コード番号 8877 URL <https://www.eslead.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒牧 杉夫
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 井上 祐造

TEL 06-6345-1880

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,927	11.5	1		15		69	
2020年3月期第1四半期	6,697	16.6	399		411	723.4	231	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 60百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 234百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.47	
2020年3月期第1四半期	14.97	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	78,282	46,828	59.8	3,034.89
2020年3月期	80,494	47,198	58.6	3,058.84

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 46,828百万円 2020年3月期 47,198百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注)2021年3月期(予想)の配当につきましては、現時点で未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大するなか、事業環境に大きな影響を及ぼす状況が続いております。このような状況を踏まえ、現時点では業績予想の合理的な算定が引き続き困難であると判断し、2021年3月期の連結業績予想につきましては、未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	15,465,600 株	2020年3月期	15,465,600 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	35,548 株	2020年3月期	35,548 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	15,430,052 株	2020年3月期1Q	15,430,240 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、特に、業績予想につきましては新型コロナウイルス感染症による影響を現段階において合理的に算定することが困難であると判断し、未定としております。

詳細につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により日本政府による緊急事態宣言が発令され、全国的に外出や移動の自粛が行われたことで経済活動が停滞いたしました。また、同宣言解除後も第二波、第三波による影響が懸念されることなどから、景気・経済の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する不動産販売事業におきましては、用地代・建築コストの高止まりが長く続いてきておりマンション販売価格は高止まりしているなか、新型コロナウイルス感染症による影響が懸念されるなど、先行きの不透明感は増しております。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、社内換気・マスク着用の徹底、座席間隔確保などソーシャルディスタンスの徹底、全従業員の健康管理、厳格な自宅待機基準の運用、時差出勤の推奨、本社オフィス入口に設置したサーモグラフィによる従業員並びに来訪者の体温管理等を徹底致しました。

また、当社グループの主力事業であります不動産販売事業におきましては、営業活動が制限される中におきましても、従来通り選ばれる良質なマンションづくりに努めてまいりました。加えてWEB商談を開始し、ご自宅にいながら物件購入をご検討いただける体制を整えるとともに、マンションギャラリーにお客様がご来場される際には完全予約制とし、ご来場の前に検温をお願いするなど、いわゆる「新しい生活様式」に対応すべく実践してまいりました。

さらに、マンション周辺事業におきましてはその拡大と新たな収益源の獲得、今後成長が見込まれる分野への進出に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は59億27百万円(前年同期比11.5%減)、連結営業損失は1百万円(前年同期は連結営業利益3億99百万円)、連結経常損失は15百万円(前年同期は連結経常利益4億11百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は69百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億31百万円)となりました。

なお、当社グループの主力事業であります不動産販売事業においては、引渡基準を採用しており、マンションの売買契約成立時ではなく、マンションの顧客への引渡をもって売上が計上されます。例年、マンションの引渡時期が特定の四半期(当期は第4四半期に引渡が集中する見込み)に偏重する傾向があり、各四半期の売上高及び利益水準は著しく相違する傾向にあります。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①不動産販売事業

不動産販売事業の中でもマンション分譲事業におきましては、当社の強みであります用地取得力やマーケティング力を活かし、お客様を第一に考える厳選した用地取得と細部までこだわった商品企画を行ったこと、新型コロナウイルス感染症対策に努めたこと、建築工事の遅延も生じなかったことなどから、外部顧客への売上高は40億17百万円(前年同期比14.1%減)、セグメント損失は41百万円(前年同期はセグメント利益4億89百万円)となりました。

②その他

既存のマンション周辺事業である賃貸事業、マンション管理事業、賃貸関連事業、不動産売買・仲介事業等が堅調に推移し、外部顧客への売上高は19億10百万円(前年同期比5.6%減)、セグメント利益は4億39百万円(前年同期比62.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて22億11百万円減少して782億82百万円となりました。主な要因は現金及び預金の減少90億8百万円、仕掛販売用不動産の増加64億99百万円、販売用不動産の増加11億74百万円によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて18億41百万円減少して314億54百万円となりました。主な要因は借入金の増加40億22百万円、支払手形及び買掛金の減少38億53百万円、未払法人税等の減少19億15百万円によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて3億69百万円減少して468億28百万円となりました。この結果、自己資本比率は59.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①連結業績予想について

新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大するなか、事業環境に大きな影響を及ぼす状況が続いております。このような状況を踏まえ、現時点では業績予想の合理的な算定が困難であると判断し、2021年3月期（連結・個別）の業績予想につきましては、引き続き未定としております。今後、合理的な算定が可能となった時点で、速やかに公表いたします。

また、上記の通り2021年3月期（連結・個別）の業績予想を未定とすることから、配当予想につきましても未定としており、同業績予想の合理的な算定が可能となった時点で、あわせて速やかに公表いたします。

②新型コロナウイルス感染症に関する将来予測情報について

当社グループは、新型コロナウイルス感染症に関するリスクの認識について重要な変更はありません。

また、同感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについては、(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項の（追加情報）に記載のとおり、重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,664,422	10,655,480
売掛金	984,371	330,238
販売用不動産	12,320,162	13,494,686
仕掛販売用不動産	40,119,633	46,619,392
その他	1,398,188	990,978
流動資産合計	74,486,778	72,090,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,293,657	1,280,071
機械装置及び運搬具（純額）	988,792	974,497
土地	2,271,294	2,297,945
リース資産（純額）	316,286	409,425
その他（純額）	45,592	59,604
有形固定資産合計	4,915,623	5,021,544
無形固定資産	51,853	59,957
投資その他の資産		
投資有価証券	216,670	228,884
繰延税金資産	560,328	613,866
その他	262,926	267,626
投資その他の資産合計	1,039,925	1,110,376
固定資産合計	6,007,402	6,191,878
資産合計	80,494,181	78,282,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,788,968	1,935,497
短期借入金	—	63,000
1年内返済予定の長期借入金	7,780,250	12,325,500
リース債務	77,176	90,539
未払法人税等	2,033,140	117,269
前受金	764,407	829,168
賞与引当金	209,763	107,544
その他	1,214,684	1,062,183
流動負債合計	17,868,390	16,530,703
固定負債		
長期借入金	14,567,850	13,981,800
リース債務	266,493	367,768
退職給付に係る負債	125,064	115,977
役員退職慰労引当金	222,500	223,875
資産除去債務	23,320	23,320
その他	222,530	210,728
固定負債合計	15,427,758	14,923,470
負債合計	33,296,148	31,454,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,983,000	1,983,000
資本剰余金	2,871,307	2,871,307
利益剰余金	42,374,619	41,997,008
自己株式	△63,881	△63,881
株主資本合計	47,165,045	46,787,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,986	41,047
その他の包括利益累計額合計	32,986	41,047
純資産合計	47,198,032	46,828,482
負債純資産合計	80,494,181	78,282,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	6,697,877	5,927,788
売上原価	4,730,647	4,292,813
売上総利益	1,967,229	1,634,975
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	233,852	166,695
給料及び賞与	599,912	621,158
賞与引当金繰入額	107,389	103,281
退職給付費用	9,070	11,731
役員退職慰労引当金繰入額	1,812	1,375
租税公課	104,337	176,054
減価償却費	12,939	18,628
その他	498,321	537,484
販売費及び一般管理費合計	1,567,634	1,636,408
営業利益又は営業損失(△)	399,594	△1,432
営業外収益		
受取利息	162	129
解約違約金収入	8,839	2,300
保証金敷引収入	7,907	13,737
その他	20,801	16,089
営業外収益合計	37,710	32,256
営業外費用		
支払利息	24,640	34,930
その他	953	11,003
営業外費用合計	25,593	45,934
経常利益又は経常損失(△)	411,711	△15,110
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	411,711	△15,110
法人税、住民税及び事業税	81,322	110,990
法人税等調整額	99,382	△57,091
法人税等合計	180,705	53,899
四半期純利益又は四半期純損失(△)	231,006	△69,009
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	231,006	△69,009

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	231,006	△69,009
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,286	8,060
その他の包括利益合計	3,286	8,060
四半期包括利益	234,292	△60,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,292	△60,949
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 販売事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	4,674,770	4,674,770	2,023,107	6,697,877	—	6,697,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	67,088	67,088	△67,088	—
計	4,674,770	4,674,770	2,090,196	6,764,966	△67,088	6,697,877
セグメント利益	489,673	489,673	270,715	760,389	△348,678	411,711

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、不動産管理事業、電力管理事業、建設・リフォーム事業、不動産仲介事業及び戸建分譲事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△348,678千円には、セグメント間取引消去276千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△348,955千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産 販売事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	4,017,656	4,017,656	1,910,132	5,927,788	—	5,927,788
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	454,546	454,546	△454,546	—
計	4,017,656	4,017,656	2,364,679	6,382,335	△454,546	5,927,788
セグメント利益又は損失(△)	△41,692	△41,692	439,280	397,587	△412,697	△15,110

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、不動産管理事業、電力供給事業、建設・リフォーム事業、不動産の仲介・買取再販事業、戸建分譲事業、宿泊施設の運営・管理事業及びマンション・ビルの清掃事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△412,697千円には、セグメント間取引消去△49,288千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△363,409千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。